

日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	HIPHOP7	
科目基礎情報					
開設学科	ダンスパフォーマンス科	コース名	全コース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	1単位			授業形態	実習
教科書/教材	適時レジュメ・資料を配布する				
担当教員情報					
担当教員	MASAKI・GOTO・ACHI		実務経験の有無・職種	有・プロダンサー	
学習目的					
この科目ではストレッチやアイソレーション等、基本的な体の動きを学び、ステップやコンビネーションを理解して作品を作る。 また振付を通して応用的なHIPHOPの表現を学びます。					
到達目標					
この科目ではHIP HOPの基礎的な体の動きを土台とした応用的な表現方法をコンビネーションやルーティーンを通して理解します。					
教育方法等					
授業概要	ストレッチ、体幹トレーニングによる基礎体力作り、アイソレーションを通して体の動き理解する。 毎レッスンテーマにそった課題振付を反復練習する事でステップやコンビネーションを修得する。				
注意点	前回レッスンの動き・ステップ・振り付けを自主練習して実習に臨む事。授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	MASAKI先生応用④		日本語詞の楽曲を用い、振付の意味を理解し表現できるようになる		
2回	MASAKI先生応用⑤		楽曲・振付の意味を理解し、既定の振付に自己のニュアンスを加えて表現できるようになる		
3回	MASAKI先生応用⑥		既定の振付課題を用い、少人数グループごとに表現力のレベルチェックを行う		
4回	GOTO先生応用④		運動量が多い振付を反復練習し、疲労度が高まってもパフォーマンスを維持できるようになる		
5回	GOTO先生応用⑤		細かく且つ運動量が多い振付を実践し、常に集中力を持続させるトレーニングを行う		
6回	GOTO先生応用⑥		長めの振付課題を制限時間内に覚え、オーディション形式で振り覚えの技術をチェックする		
7回	ACHI先生応用④		リズムキープが重要となる振付を実践し、早いテンポでも正確な振付ができるようになる		
8回	ACHI先生応用⑤		既定の振付課題を用い、リズムに重点を置いた自由演技を続けて踊れるようになる		
9回	ACHI先生応用⑥		少人数のグループで既定振付～自由演技を発表し、表現力のレベルチェックを行う		
10回	卒業公演 振付①		振付師の考える楽曲・振付テーマ・表現したい内容を理解し、振付に取り組めるように準備する		
11回	卒業公演 振付②		ユニゾンパートの振付を練習する		
12回	卒業公演 振付③		ユニゾンパートの振付の精度をレベルチェックし、立ち位置を決める		
13回	卒業公演 振付④		オーディションを行いソロパート、少人数パートの出演者を決める		
14回	卒業公演 振付⑤		ソロ、少人数パートの振り入れを進め、ユニゾンパートに繋げる		
15回	レベルチェック		振付①～⑤までの精度を確認し、パート構成に臨む準備をする		